



全力疾走！

平成 29 年 7 月 1 5 日 発行 Vol.26 発行者 宮城県議会議員 庄田圭佑

第360回定例会終了！持続可能性をテーマに一般質問！

こんにちは。宮城県議会議員の庄田圭佑（しょうだけいすけ）です。

6月16日から7月6日までの21日間の日程で、第360回定例会が開催されました。今議会では約26億円の補正予算が成立（詳細は2面に記載）しました。主に、震災復興基金の積み増し、東京オリンピック関係予算が補正計上されました。

さて、今定例会では通算5回目となる一般質問を行いました。今回は「持続可能な県政」をテーマに、子どもの貧困問題、いじめやひきこもり対策について質問（下段に質問大綱について記載）させて頂きました。



子どもの貧困問題については、貧困を現状のまま放置すると、我が国全体で約4兆2兆9000億円の所得損失に、そして約1兆5兆9000億円もの財政収入が減少するとの試算を日本財団が2015年12月に公表しました。また、我が県においては県民一人当たりの財収入減少額は2,361円、県全体で約55億円減少するということが試算され、持続可能な県政のためには、子どもの貧困対策強化について福祉政策という位置づけではなく社会的な投資としての位置付けが必要だと訴えました。また、貧困は子どもの健康格差の拡大にも繋がるため、毎年70億、80億で自然増となっている我が県の社会保障費の抑制という面においても、貧困対策は極めて重要です。

こうした中、今回の一般質問では歯科口腔ケアの充実や、高卒中退を防ぐことを意図に私学助成金の拡充、地域の高校機能維持を目的に公立高校の全国公募、全県での貧困やひきこもり実態の把握（県内の子どもの貧困調査は仙台市のみ）、家庭教育の充実とその情報発信の強化等について提言致しました。しかしながら、県では「子どもの貧困については憂慮すべき状況にある」、「いじめは社会全体の問題として考えていくことが重要である」という認識ではありましたが、私の提案については、大変残念ながら、現状の取組を継続してまいりたい、他県動向等を注目してまいりたいという答弁に留まりました。

子どもの貧困問題やいじめ、ひきこもり等の対策強化については、我が県の持続可能性にも直結するだけに、他人事ではなく、自分のこととして捉えることが重要であり、県からの回答は到底納得できるものではありませんでしたので、これからも引き続き取り組んで参ります。

第360回定例会一般質問の内容

- 1 我が県における子どもの貧困の現状と対策強化に向けて
- 2 我が県におけるいじめ・ひきこもりの対策に向けて

引き続き、県政課題解決と宮城発展に向け全力疾走して参りますので、皆様から忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

宮城県議会議員 庄田圭佑

県政座談会を開催！

毎月、泉区内各地区で県政課題等を伺う座談会を開催しております。お近くで開催の際には、お時間許す限り是非ご参加ください。皆様から頂戴いたしましたご意見を村井知事にしっかりとお伝えします！

次回開催のご案内

日時 8月26日(土)
会場 14:00～ 桂市民センター
16:00～ 将監市民センター



補正予算について

今回の補正予算は、東日本大震災の復興交付金の基金積立や、再生可能エネルギーを活用した水素の製造及び利活用促進に向けた設備整備経費、県立都市公園等の施設整備費のほか、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の会場となる宮城スタジアムの芝面改修経費が予算化されました。

【補正予算の主な事業】

東日本大震災復興交付金基金造成費 2,030,092 千円
→復興地域づくりに必要な事業費の積立

再エネ水素活用設備整備費 200,000 千円
→太陽光による水素製造・貯蔵・発電設備の整備

総合運動公園施設整備費 1,900 千円
→宮城スタジアム芝面の改修※債務負担行為は 181,000 千円

総合運動公園施設整備費 203,407 千円
→テニスコートの人工芝化及びクラブハウスの整備

東北歴史博物館観光拠点整備費 50,760 千円
→情報発信・イベント開催スペースの整備

政務活動レポート

議会一般質問での県政発展に向けた政策提言、県政課題の解決に向け、日々精力的に政務活動に取り組んでおります。最近の政務活動の内容の一部ですが、簡単にご報告致します。



左上) 秋田県にて木質バイオマス発電所の視察・意見交換

右上) 難病患者・家族の皆さんに現状と課題について伺う

左下) 水産漁港議連で県漁協の皆様と勉強会

保健福祉委員会県外調査

保健福祉常任委員会にて、7月10日～12日の日程で県外調査を実施いたしました。

今回の調査内容は、鹿児島県で「へき地医療の現状と医療人の育成について」、大阪府では「我が国における発達障害の現状と課題について」、京都府において「特別養護老人ホームの運営と利用者・職員の満足度について」、「京都市域包括ケアシステムについて」等の調査を実施いたしました。これらの調査を基に、我が県の発展に役立ててまいります。



鹿児島大学大学院歯学総合研究科 鹿児島へき地医療人育成センターにて
大阪大学大学院連合小児発達学研究所にて

県政へ一言！！～皆様からのご意見をお待ちしております！～ FAX 050-3737-4421

お名前

お電話

住所

県議会議員 庄田圭佑プロフィール

●1984年2月2日生まれ。明泉幼稚園、南中山小・中を経て、泉館山高等学校、宮城大学事業構想学部事業計画学科卒業。卒業後、(株)サンケイビル(フジ・メディアHD傘下)に入社し、大手町連鎖型再開発事業等の都市開発事業に従事。その後仙台に戻り衆議院議員秘書。2015年10月宮城県議会議員初当選。自由民主党・県民会議所属。現在、保健福祉委員、総合観光調査特別委員。

●先祖が白虎隊だった縁で「みやぎ会津会」所属 ●趣味:ジョギング、スポーツ観戦、旅行 ●特技:和太鼓、乗馬

庄田圭佑事務所 〒981-3213 仙台市泉区南中山2-2-5 TEL022-342-1041 FAX 050-3737-4421